

67 複連結範囲 = 於ル函数ノ單葉性 = ツイテ

尾崎 繁雄 (東京文理大)

前号 = 於ル佐藤君ノ御研究ヲ讀ニテ "氣ノ付イタコトヲ感入" シタイ
單一閉曲線 γ 平面 Σ 内 $\sigma = \int_{\gamma} \omega$ ノ一方ガ凸範圍 Γ アル
場合 = シテ凸曲線ト呼ビ"又 γ ガ凸曲線 Γ ナクモ原點ヲ中心トスル
三重半径 ρ γ 内 σ シテ ρ Γ 内曲線ガ凸 Γ アル場合 = γ 内
朝凸曲線ト呼フコト = スル。

本紙 1955 年 5 月ノ拙論中テ "一寸紹介シタ掛谷先生ノ補助定理
又次ノ様ニ述ベルコトガ" テ"キル。:—

γ 正則閉曲線トスル。 Σ ガ γ 上ヲ一周スル場合 = $amp \int_{\gamma} \omega$
振幅ガ 3π より小ナラハ γ 單一閉曲線 Γ アル。

コノ事實ヲ用ヒテ Σ ノ ω ノ補助定理ガ容易ニ得ラレル。(前記
拙論参照)

補助定理 1. $f(z)$ ガ單一正則閉^凸曲線 γ 上テ "有理型且 $\operatorname{Re} e^{i\alpha} f(z) > 0$ (α : 実常数) ナラハ $f(z)$ ハ γ 上テ "正則且單
純 Γ アル。

尚コノ場合 = $f(z) = \rho(z)$ γ 内曲線 γ トスレハ Σ ガ γ 上ヲ
ニ方向 = 一周スレハ $f(z) \in \rho$ γ 上テ正方向 = 一周スルコトガ容易
ニワカル。コノ場合 = $f(z)$ ハ γ 上テ "正ノ單葉 Γ アルト呼フコト = ス

補助定理 2. $f(z)$ ガ原點ヲリマク一ツノ單一正則閉^凸反朝凸
曲線 γ 上テ "有理型且 $\operatorname{Re} e^{i\alpha} z^2 f'(z) > 0$ (α : 実常数)
ナラハ $f(z)$ ハ γ 上テ "正則且單葉 Γ アル。

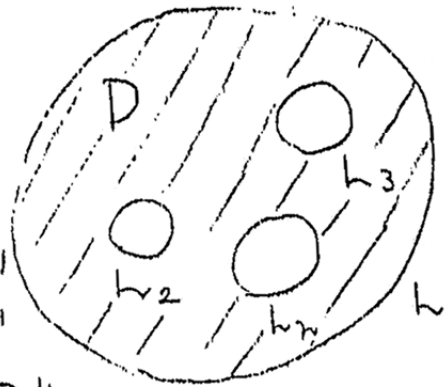
尚コノ場合 = $f(z) = \rho(z)$ γ 内曲線 γ トスレハ Σ ガ γ 上ヲ

正方向 = 一周スルハ $f(z)$ ハ h 上ヲ負方向 = 一周スルコトカ容易ニ
 ワカル。コノ場合ニ $f(z)$ ハ h 上ヲ負ノ單葉ヲアルト呼ブコトニスル。

次ノニッノ補助定理ヲ明ナコトヲアラウ。

補助定理 3 Ω = 於テ h_1, h_2, \dots, h_n ハ何レモ單一正則
 内凸曲線, D ハ之等ニヨリ囲マレタ内範圍トスル。 $f(z)$ ガ D 上テ正
 則且 h_1, h_2, \dots, h_n 上テハ何レモ正ノ單葉トスルハ $f(z)$ ハ D 上
 テ單葉ナル。

補助定理 4 Ω = 於テ h_1, h_2 ハ
 何レモ原點ヲ取卷ク單一正則内反轉
 凸曲線, h_3, h_4, \dots, h_n ハ何レ
 モ單一正則内凸曲線, D ハ之等ニヨリ
 囲マレタ内範圍トスル。 $f(z)$ ガ D 上テ
 正則且 h_1, h_2 上テハ負ノ單葉, $h_3, h_4,$
 h_n 上テハ正ノ單葉ナラハ $f(z)$ ハ D 内テ單葉ナル。



系高次ノ定理ヲ得ル。

定理 1 Ω = 於テ h_1, h_2, \dots, h_n ハ何レモ單一正則
 内凸曲線, D ハ之等ニヨリ囲マレタ内範圍トスル。 $f(z)$ ガ D
 上テ正則且 $h_\lambda (\lambda=1, 2, \dots, n)$ 上テ $\text{Re } e^{i\alpha_\lambda} f'(z) > 0$,
 (α_λ : 実常数) ナラハ $f(z)$ ハ D 内テ單葉ナル。

定理 2 Ω = 於テ h_1, h_2 ハ何レモ原點ヲ取卷ク單一
 正則内反轉凸曲線, h_3, h_4, \dots, h_n ハ何レモ單一正
 則内凸曲線, D ハ之等ニヨリ囲マレタ内範圍トスル。 $f(z)$
 ガ D 上テ正則且 $h_\lambda (\lambda=1, 2)$ 上テ $\text{Re } e^{i\alpha_\lambda} z^2 f'(z) > 0$
 $h_\mu (\mu=3, 4, \dots, n)$ 上テ $\text{Re } e^{i\alpha_\mu} f'(z) > 0$ ナラハ $f(z)$ ハ
 D 内テ單葉ナル。

前記佐藤君、定理 2 の上、定理 1 = 含まれる様 = 思フ
 能代君、定理 B (18号 51) を勿論、上、定理 1 = 含まれる語
 である。

[注意] 又 z_0 が中心トシテ単一閉曲線トシテ反転シタ図
 形トシテ凸曲線トアル場合 = h_1 、 h_2 が中心トスル反
 転凸曲線トアルト云フコト = スル。特ニ $z_0 = 0$ ナル場合 = 零
 シテ唯反転凸線トシテ言フアル。

定理 2 = 於テ h_1, h_2 ナ何レモ反転凸線トアルコトカ
 必要アルカ反転ノ中心カ夫々 z_1, z_2 \wedge = アツテモ差支ヘ
 ナイ。コノ場合 = ナ条件 (A) シテ、又条件デオキカバヨイ。

$$h_1 \text{ 上 } \Re e^{i\alpha_1} (z - z_1)^2 f'(z) > 0$$

$$h_2 \text{ 上 } \Re e^{i\alpha_2} (z - z_2)^2 f'(z) > 0$$

但シ h_1, h_2 ナ夫々 z_1, z_2 ヲ取卷イテ居ルコトカ必要アル

尚之等、定理 "Convex" 場合ヲ考慮ニ入レルハ、尚幾分扶
 張アル (出生論。大塚数学全集 巻 1 号 18 頁 参照)
 (12. 3 受取)